

かざぐるま

38号

連携の風

SPECIAL 新型コロナウイルス感染症への対応と現在の診療体制



総合臨床センタースタッフ

CLOSE UP

● 総合臨床センターは
市立札幌病院の総合力が結集される窓口です

TOPICS

● 紹介患者の予約受付窓口について

INFORMATION

- 連携医療機関のご紹介『桑園中央病院』
- 『かかりつけ医制度』の推進について
- 地域医療情報ネットワーク『すずらんネット』について
- 『Dr to Dr 患者紹介専用ダイヤル』をご活用ください



市立 札幌病院

● 基本理念

すべての患者さんに対して その人格・信条を尊重し
つねに“やさしさ”をもって診療に専心する

● 役割

- ① 高度急性期病院として地域の医療機関を支える。
- ② 地域医療支援病院として地域の医療機関を支える。
- ③ 北海道・札幌市の将来の医療を担う人材を育成する。
- ④ 良質で安心できる医療・サービスを安定的に提供する。

● 役割を実現するための6つの基本目標

- ① 市民の命を守るため、他の医療機関からの受け入れ要請を断らない医療を実現します。
- ② 地域の医療機関と緊密な連携体制を構築します。
- ③ 医療を担う人材を育成するとともに、先進医療に貢献します。
- ④ 医療の質を常に向上させます。
- ⑤ 患者サービスを充実させ、より快適な療養環境を実現します。
- ⑥ 業務の効率化を徹底し、健全な財政基盤を確保します。

新型コロナウイルス感染症

「チーム市立札幌病院」として

当院は、第一種及び第二種両方の指定を受けた道内唯一の感染症指定医療機関としての役割を果たすため、令和2年1月から新型コロナウイルス感染症における重症患者及び中等症患者の受入れを積極的に行い、「チーム市立札幌病院」として職員一丸となって、入院治療などに対応してまいりました。

当初、感染症病棟や救命救急センター等を活用していましたが、感染患者の増加に伴い、一般病棟と明確に区分された病棟において、段階的に受入病床を拡充しました。

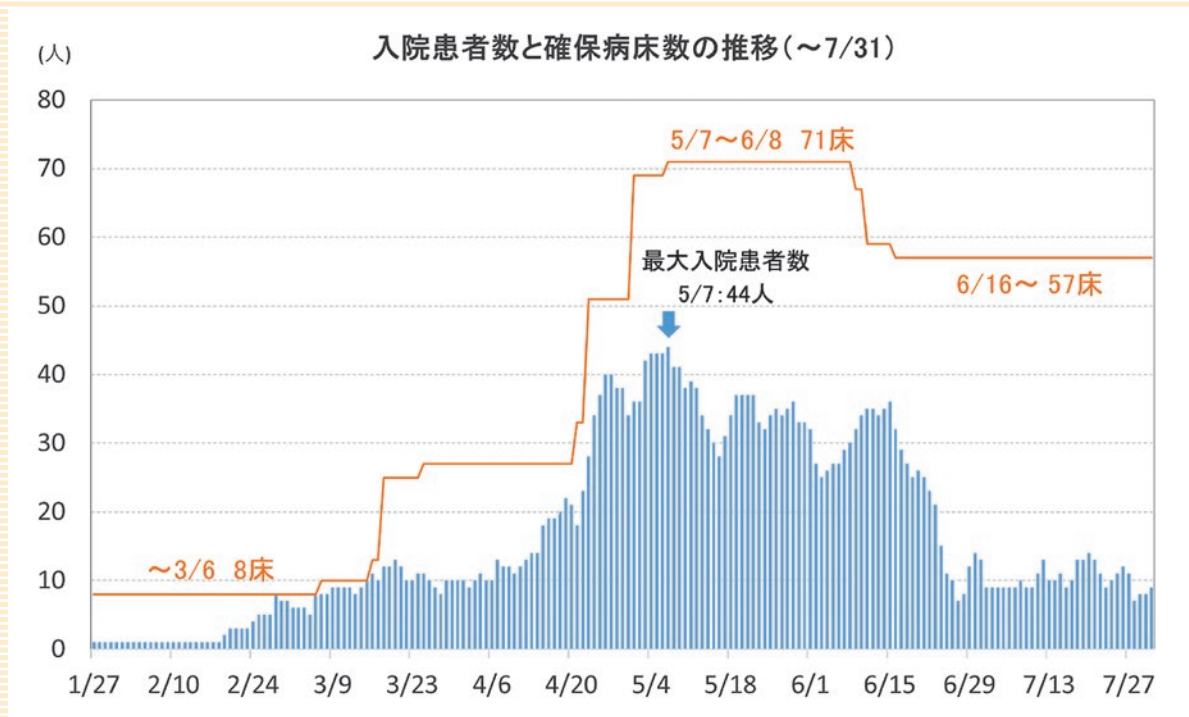


感染症患者を搬送する当院スタッフ

道内初の感染患者から受入れを継続

1月27日に道内初の新型コロナウイルス感染症患者を受け入れて以来、7月31日までに210人の入院患者を受け入れてきました。

6月16日以降も57床を確保した上で、院内の態勢を継続しています。



への対応と現在の診療体制

安心して受診していただくために

感染症患者の受入態勢を整えるために、2月以降は救急患者や一般の入院患者の受入れを一部制限しましたが、以下の感染対策を講じるほか、職員一人ひとりが公私ともに感染防止の行動にも心掛けており、これまで院内感染を起こすことなく診療を続けるとともに、7月から、三次救急とすべての輪番二次救急を再開しました。

引き続き徹底した感染管理を行い、安全で安心な医療をご利用いただけるよう努めてまいります。

発熱者一次診察

院外からの感染持ち込み防止のために、発熱やせき等の症状や感染流行地との往来があることが確認された患者を対象に、2月28日から、各診療科での診察に先立って新型コロナウイルス感染症の疑いの有無を確認する「発熱者一次診察」を実施しています。

面会を全面的に禁止

インフルエンザの院内感染を防止するために、令和元年12月から入院患者への面会を「原則禁止」としていましたが、3月23日から「全面的に禁止」としております。

その他の主な感染対策

- ・全ての皆様にマスクの着用や手指消毒といった標準予防策の徹底をお願い
- ・受付ホールやカウンター窓口での適切な距離を確保、ビニールカーテンを設置
- ・全身麻酔での手術を行う患者に対して術前に胸部CT、PCR検査などを実施
- ・処置時、職員はN95マスクやフェイスシールド、頭皮キャップ、医療用ガウン、手袋を装着

平常通り紹介患者を受け付けています。下記の窓口からご予約ください。

① 札幌市医師会会員の医療機関から予約する(専用ダイヤル)

- ・札幌市医師会 地域医療室に繋がります(直通)

TEL 011-707-7705 FAX 011-707-7706

② 一般の医療機関(札幌市医師会に所属していない)から予約する

- ・予約センターに繋がります(直通)

TEL 011-726-7831 FAX 011-726-7832

③ 患者さんやご家族から予約する

- ・予約センターに繋がります(直通)

TEL 011-726-7831 FAX 011-726-7832

※ P5で紹介予約について解説しています。

総合臨床センターは市立札幌病院

1

どんな診療をしているのですか

総合臨床センターは、診療科が特定できない患者さん、複数の問題点を持っていて、それぞれに対応を要する患者さんや、心肺停止や重症外傷などの集中治療を必要とする患者さん以外の救急患者さんを受け入れて、診療科横断的な初期診療を行っています。

2

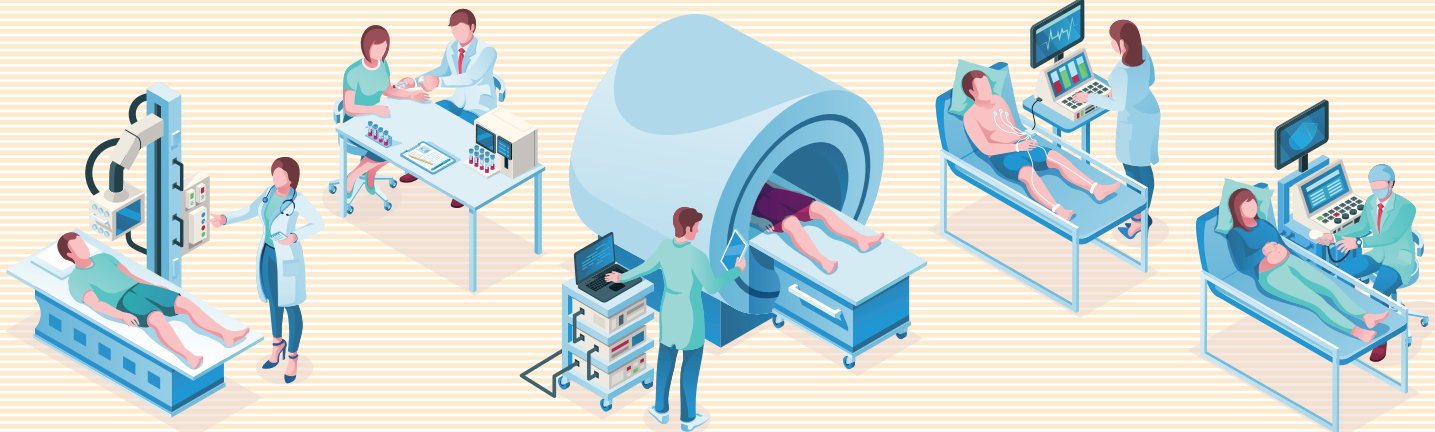
どんな人が診療にあたっているのですか

〈医師〉

日中時間帯は、初期臨床研修医22名、この中から1年目2年目それぞれ1名ずつ2名がペアになり、指導医のsupervisionのもと初期診療を行います。夜間帯は研修医1名と、指導医1名の2名で診療を行います。初期診療ののち病態の評価に基づいて、院内の各診療科に引き継ぎます。指導医は、それぞれにリウマチ免疫内科、感染症内科、救急科、プライマリ・ケアの専門医、認定医を取得しています。

〈看護師〉

救急外来内視鏡画像センター看護師が総合臨床センター外来の看護を担っています。同部門はCTやMRI、血管造影などの画像検査や、内視鏡などの光学検査もカバーしており、臨機応変の対応が求められる急性期の看護、検査に対して対応できるスタッフが任命されています。



の総合力が結集される窓口です

3

総合臨床センター発足の経緯

総合臨床センターの診療は、臨床研修病院として、患者さんのお話や症候から医学的な問題点を抽出して対処する経験を積むことが、研修の要素として欠かせないことから、当初、『指導医と研修医とで、受付時間外に来院された患者さんの診療と、入院中に状態が悪くなった患者さんの初期対応を行う』臨床研修センターの診療として始まりました。その後、院内コンサルト体制、入院体制の整備を進め、救急車の受け入れを開始し、対応時間も平日日中から24時間365日の対応へと拡大し、全診療科が広く診療に関与する体制として構築を進め、この度「臨床研修センター外来」「救急外来」の統合の呼称として総合臨床センターを用いることとなりました。



4

総合臨床センターに依頼して入院になった患者さんはその後どうなりますか

入院が必要となった場合には、総合臨床センターとして臨時入院の上、翌日までに病院として受け持ち診療科を決定し、治療を継続します。当院での急性期診療に目途がつき次第、地域の医療機関に診療を引き継ぎがせていただきます。

5

どんな患者さんに対応してもらえますか

地域医療支援病院として、地域の医療機関の皆様からの診療のご依頼には可能な限り応需する体制をとっています。診療科がお決まりでしたら当該診療科へお願いいたします。問題点が多く診療科が決まらない、診療科横断的な病態である場合には、総合臨床センターで患者さんのご依頼を受けています。地域医療に当院の機能を生かす窓口として、総合臨床センターを利用ください。



新外来患者さんの紹介予約についてご案内します

いつも市立札幌病院へ患者さんをご紹介いただきありがとうございます。新外来患者さんのご紹介は、以下の3つのルートからのご予約が便利です。予約することで、患者さんの待ち時間の負担軽減はもちろん、紹介元医療機関様の利便性の向上にも努めてまいりますので、どうぞご活用ください。



患者さんやご家族が自分で予約をとれる『予約センター』

患者さんやご家族からお電話をいただき、専門スタッフと直接話し合っ予約を組めるので、紹介元医療機関様が間を取り持つお手間を取らせません。当院へのお急ぎの受診が必要ないときなどにご活用いただくと便利です。患者さんに診療情報提供書をお渡しのうえ、下記の電話番号と受付時間をお伝えください。

- 予約センター 電話番号：011-726-7831
受付時間：平日 8:45 ~ 17:00



札幌市医師会会員専用の予約窓口『地域医療室』

札幌市医師会会員様が市立札幌病院と緊密に連携を取りやすく、医療資源を効率的にご活用いただく等の目的で平成7年開設された窓口です。札幌市医師会会員が所属の医療機関様からご連絡をいただき受診予約が取れます。この窓口から予約した患者さんは、札幌市医師会スタッフが受診当日の受付手続きを代行し、お待たせすることなく直接診療科窓口へご案内させていただくことで、患者さんの不安と負担の軽減に努めています。ご利用の際は、下記までご連絡ください。



- 地域医療室 電話番号：011-707-7705
受付時間：月～金 9:00 ~ 17:00
土 9:00 ~ 12:00
日祝休み

一般の医療機関からの予約も『予約センター』

札幌市医師会会員様以外の一般の医療機関様からの予約は『予約センター』で受付しております。看護師等の熟練のスタッフが、紹介元医療機関様からのニーズを聞き取り、可能な限りご希望に添えるよう予約調整を行っております。患者さんやご家族がご自分でご予約を取りにくい場合や、細やかな調整が必要な場合等は、お手数ですが診療情報提供書をご用意の上、医療機関様から下記までご連絡ください。

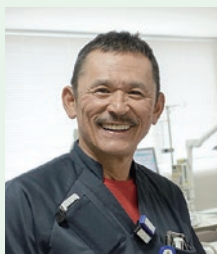
- 予約センター 電話番号：011-726-7831
受付時間：平日 8:45 ~ 17:00

連携医療機関のご紹介



医療法人

桑園中央病院



院長 松井 傑

当院は血液浄化に特化した小さな急性期市中病院です。
 小さいながらも44台の透析ベッドを稼働させ、24時間体制で全ての血液浄化法に対応できる学会認定施設として、その自負と誇りを胸に技の研鑽に励んでいます。

透析症例の末梢性動脈疾患 = PADは仕方がないと考えている透析医が多いのは残念ながら事実ですが、当院のようにPAD症例が殆ど無く更に依頼された虚血肢を治癒させてしまう施設もあります。つまり血管を守り、傷を治す透析技術があるのです。

2011年11月に発足した当院下肢救済チームは市立札幌病院と救肢ネットワーク HSS-Line を構築し(写真1)、救肢戦略 SWAT を武器に北海道の救肢の最後の砦として奮闘しています。(写真2・3)

心腎連関に関与する病態とリスクは多くの大規模疫学調査によって考察され心血管毒 = Uremic Toxin (炎症性サイトカイン) による血管内皮障害が原因であることが明らかになっています。

今こそUremic toxinを除去する透析が求められているのです。

例えば透析症例の大動脈弁、僧帽弁の石灰化は仕方がないと考えている臨床医は多いですが、多変量解析によると、年齢、透析歴、IL-6、糖尿病が有意な危険因子であることが報告されています。つまりIL-6を十分に除去すれば、リスクを減少させる事ができます。透析中に原因不明の血圧降下を来す透析心、その背景にある心筋微小循環障害の原因はUremic Toxin 蓄積つまり透析量不足にある事もまた然りなのです。

十分な透析量の確保は日本透析医学会の維持透析ガイドラインにも推奨されています。しかし、型の如くの透析を継続するのみで、透析量評価を行っていない施設が多いのも残念な事実です。

津軽海峡には医学のプラキストン線もあるのかと言われる事の無いよう学際的な血液浄化を目指し頑張っています。どうぞ宜しく御願致します。



写真2

SWAT
 Strategical Wound-care and Advanced Technique
 重症虚血肢への戦略的治療術

1. Dialysis with high quality (スーパーHD)
2. Hyper Baric Oxygen therapy (高気圧酸素療法)
3. LDL-apheresis (LDLアフェレーシス)
4. Maintenance debridement (低侵襲壊死組織除去術)
5. Rehabilitations for patients on dialysis (腎臓リハビリ)

写真3



写真1



桑園中央病院

〒060-0080
 札幌市中央区北 8 条西 16 丁目
 TEL011-621-1023

人工透析、泌尿器科、内科、血管外科
 診療 月～金 午前 9:00～12:30 (受付 12:00迄)
 午後 13:30～17:00 (受付 16:30迄)

『かかりつけ医制度』の推進を強化しています。

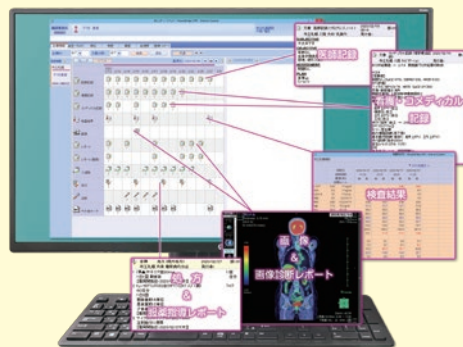
市立札幌病院は地域医療支援病院として、地域の医療機関と連携し「地域完結型医療」を推進しております。そのため、病状が安定した外来患者さんには、「かかりつけ医」へご紹介をして、診療の継続をお願いしております。また、病状の変化や検査が必要になった場合は当院へご紹介をお願いいたします。今後ともシームレスな診療に向け、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



地域医療情報ネットワークシステムすずらんネットについて

当院の診療記録を、貴院から“いつでも”“無料で”ご覧いただけます！

市立札幌病院では、インターネット通信を介し患者さんの診療情報を参照していただく、市立札幌病院地域医療情報ネットワークシステム「すずらんネット」を運用しております。当システムは患者さんの同意に基づき、当院に受診歴のあるほぼすべての診療科のカルテ『医師診療録』『コメディカル記録』『各種レポート』『患者基本情報』『アレルギー情報』『処方』『注射』『検体検査』『画像情報』等が参照可能です。インターネット環境であれば設定は可能で、設定費用もかかりません。ぜひ日々の診療及びスムーズな医療連携に役立つようにご登録をお願いします。



ユーザー側から見える「すずらんネット」のイメージ

問合せ先：市立札幌病院 地域連携センター地域連携係
☎011-726-2211 (代)

『Dr to Dr 患者紹介専用ダイヤルをご活用ください』

～紹介する診療科に迷う場合は「総合臨床センター」をご指定ください～

“緊急である”“困難症例である”等の事情から、通常の紹介経路では受入れに時間を要するケースに対応するため、2016年8月に外部の医師から当院の医師へダイレクトに繋がる『Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル』を開設しました。4年余りが経過した現在も月平均80件程度のご利用があり、順調に稼働しております。地域の先生方からは、「指定した診療科や医師へ直接繋がるのが良い」と好評をいただく一方で、「症例によって指定する診療科に迷う」とのご意見が寄せられております。そのような場合は、ぜひ「総合臨床センター」をご指定ください。当センターは、研修医と経験を積んだ各診療科の指導医が共に診療にあたる、いわゆる総合診療科としての役割も担っておりますので、安心して患者さんをご紹介ください。今後も、『Dr to Dr患者紹介専用ダイヤル』をご活用ください。



Dr to Dr 患者紹介
専用ダイヤル

TEL: 011-788-6570

24時間対応

※ただし、夜間休日は当直医が対応し診療科の指定はできません。

ホームページもご利用ください

市立札幌病院

